

ひとつの言葉はひとつの心をもっている

校長 長谷川 晋

合唱コンクールでは、1・2・3年生がひたむきに努力した成果として、思いのこもった歌声と心のハーモニーが上越文化会館のホール全体に響き渡り、聴く者すべてに感動と元気が届けられました。

県中教研指定の理科教育研究発表会では、1年生を代表して3組の授業が体育館で公開されました。80名超の参会者に囲まれ、科学的に探究した反射板の仕組みを堂々と発表する姿が見られました。

2年生の職場体験活動では、多様な事業所で実際に働くことを通じて「人はなぜ働くのか」という問いに対する自分なりの答え（納得解）を見つける3日間となり、職業観や勤労観が磨かれました。

今月は生徒の皆さんに、発した言葉がもつ言霊（ことだま）について、下の枠内に紹介します。

「言霊（ことだま）」という言葉を知っていますか。昔から日本では「言葉には魂が宿っていて、発した言葉どおりの結果をもたらす力がある」と言い伝えられてきました。

言霊：古代日本で、言葉に宿っていると信じられていた不思議な力

口にした言葉は、単なる文字や音ではなく、言葉の内容が現実になる力をもつため、発した「良い言葉」は「良いこと」を、発した「悪い言葉」は「悪いこと」をもたらすと信じられてきました。

現代においても、言葉には人を支えたり傷つけたりする大きな力があり、言霊をもつと言えます。

口にした「良い言葉」は、人を支える翼となって、相手に、「良い結果」をもたらします。

- ・【無理なくいいよ、そばにいるから】その一言で、教室に入ることができる人がいます。
- ・【次いっしょに取り返そう】先輩の一言で、バレーボールの試合でのミスを挽回する人がいます。
- ・【あなたの味方がここにいるよ】たった一言で、人間関係での悩みがやわらいでいく人がいます。

口にした「悪い言葉」は、人を傷つける刃となって、相手に、「悪い結果」をもたらします。

- ・【あいつ、マジで無理】SNSに流された時の一言で、気になって眠れなくなる人がいます。
- ・【まだいたの、どいて】廊下ですれ違った時の一言で、学校へ来られなくなる人がいます。
- ・【は？何が言いたいの？】授業での一言で、自分の意見を述べる勇気を失ってしまう人がいます。

詩人で童謡作家の北原白秋氏(1885-1942年)が創作したとされている詩「ひとつのことば」があります。

ひとつのことばで けんかして	ひとつのことばで かななおり
ひとつのことばで 頭が下がり	ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い	ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心を もっている
きれいなことばは きれいな心	やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に	ひとつのことばを 美しく

城東中生の皆さん、ひとつの言葉を口にする前に、静かに、自分へ問いかけてみてください。その一言は、人を支える翼になるでしょうか。その一言は、人を傷つける刃となることはないでしょうか。あなたの他を思いやる言葉は、きっと届きます。誰かの心に。誰かの眠れない夜に。誰かの未来に。

城東中生一人一人の言霊は、人を傷つける刃ではなく、人を支える翼になると信じています。

初冬を迎え、朝夕の冷え込みが一段と厳しくなっています。すべての子どもたちが、心と体の健康に対する自己管理をしっかり行い、元気に諸活動に取り組み、2学期を締めくくることが期待しています。保護者や地域の皆様、子どもたちへの変わらぬお力添えと見守りをお願いいたします。

会場一杯に響いた感動のハーモニー！！

11月5日（水）に合唱コンクールが開催されました。上越文化会館という大舞台での音の響きを直に感じ、生徒たちは生き生きと自分自身を表現していたようです。審査の先生方からのご指導からも多くの学びを得ることができました。何よりも、会場が一体となった感動のフィナーレは、かけがえのない思い出として一人一人の心に刻まれたことでしょう。城東中生それぞれが互いに切磋琢磨し、高め合う姿に、全聴衆が心を打たれました。

今後も学校全体が一丸となって課題に挑み、城東中生が前に進んでいってくれることを願っています。



令和7年度城東中学校合唱コンクール3学年最優秀賞

3年1組「虹」

生徒の生き生きと学ぶ姿に拍手！

11月11日（火）には県中学校教育研究会指定の上越地区理科教育研究発表会が行われました。当日は全県から集まった80名以上の先生方が見守る中、体育館で授業が行われました。発表クラスに選ばれた1年3組は、光の反射の原則を応用しながら、より性能の良い反射板を作ろうと試行錯誤した結果を発表していました。先生方の「課題解決に向けて科学的に探究する生徒を育てたい」という熱い思いと今までの実践、そして生徒たちの「もっと学びたい」という純粋な気持ちが合わさったすばらしい時間となりました。



学び場「放課後 JOTO JUKU」開催！



11月17日（月）に自主学習会である、放課後 JOTO JUKU を開催しました。20名の生徒が参加して、約1時間それぞれの課題に熱心に取り組みました。自ら参加した人、誰かに誘われて参加した人、動機はそれぞれだったかもしれませんが、仲間とともに学び合う姿に刺激を受けたようです。応援に駆けつけてくれた15名のサポーターさん、ありがとうございました！

【 12月の予定 】

学び場「放課後 JOTO JUKU」②

12月 1日（月） 15:15-16:15

遊び場「放課後COMMUNITY SCHOOL」①

12月 18日（木） 15:15-16:15

学び場「放課後 JOTO JUKU」③

12月 25日（木） 時間未定

参加を希望する方は下の二次元コードを読み込み、回答をお願いします。なお、遊び場では生徒の声を聞き、レクリエーションを行います。

※生徒もサポーターも同じものです。



いじめ見逃しゼロスクール集会に向けてスタート！

11月27日（木）に行われる「いじめ見逃しゼロスクール集会」に向けて、各学年で取組がスタートしています。

今年度は望ましいコミュニケーションのあり方、協力することの大切さをテーマに「PA（プロジェクトアドベンチャー）」という活動に取り組みます。様々な課題が与えられ、ペアやグループの中で意思疎通を行いながら課題を一つずつ解決していきます。一つの目標に向かって心を合わせて協力する姿がとても素敵でした。

感想を見ると「いろんな人とコミュニケーションをとって盛り上がったことが楽しかった！また別の機会や学年で盛り上がりたいです！」「普段あまり話さない人とトークできてよかったし、みんなとの仲が深まったんじゃないかと思います」と生徒の反応もとても前向きです。

この活動をきっかけとして、「違い」を乗り越え、手を取り合って支え合う、温かい心の輪が広がることを願っています。



城東整頓ウィークが実施されました！

11月17日（月）から、生徒会環境委員会と福祉委員会が身の回りの環境整備や整理整頓の意識向上のきっかけづくりとして活動しています。普段の清掃時間だけではなかなか手が回らないところにも気を配って、全校生徒が気持ちよく過ごす環境を整えました。全校生徒も公共物を大切に扱う気持ちがさらに強くなってくれるとうれしいです。



学校保健委員会が開催されました！



11月20日（木）には講師として上越教育大学の先生をお招きし、「睡眠」について講義をいただきました。感染症予防対策の観点からリモート実施となりましたが、生徒は自分のメディアと睡眠の関係を振り返りながら講話に耳を傾けていました。対面で参加した生徒会保健委員長と副委員長は「学習とメディア、睡眠の折り合いをしっかりとつけていきたい」「メディアの時間を減らしながら睡眠に充てていきたい」と自分の課題に向き合っていたようでした。「メディアは大切。どううまく使っていくか自分で決めることが大切」というメッセージを最後にいただき、閉会となりました。

ました。

1学期のSNSの利用方法の講演から、視点を変えて今回、睡眠についてお話をいただきました。引き続きご家庭でも生徒のメディアとのかかわりについて、ご確認ください。

12月の主な予定

- 1日（月）学び場②
- 4日（木）吹奏楽部壮行演奏会（オープンスクール）
- 7日（日）吹奏楽部アンサンブルコンテスト（上越文化会館）
- 9日（火）生徒会立会演説会・選挙
- 10日（水）学期末大清掃（17（水）、18（木）、22日（月））
- 11日（水）2学期末面談（～16日（火））
- 15日（月）生徒会三役任命式
- 18日（木）遊び場①
- 19日（金）2学年職場体験学習発表会
- 23日（火）2学期終業式
- 24日（水）冬季休業（～1月6日（火））
- 25日（木）学び場③

